

## ●主要勘定の状況

(単位：百万円)

区分	平成17年7月末	平成18年1月末	平成18年7月末
貯金	74,287	75,794	75,129
貸出金	10,050	10,665	12,754
預金	62,816	61,812	58,623
有価証券	3,190	4,423	4,867

○運用資金の貸出金残高は、災害住宅復興資金等の需要により前年同期比27億円、26.9%増加しました。預金残高は、貸出金の伸長と安定的な収益確保を目的とした有価証券の購入を行っているため減少しています。

## ●金融再生法開示債権の状況

(単位：百万円)

債権区分	平成18年1月末	平成18年7月末	増減
破産更正債権及びこれらに準ずる債権	366	372	5
危険債権	283	269	△13
要管理債権	63	48	△15
小計①	713	690	△22
正常債権	9,996	12,125	2,129
債権合計②	10,709	12,816	2,106
開示債権の割合 (①÷②×100)	6.66%	5.39%	-1.27%

○貸出金の伸長により前年度末比20億円、貸出金が増加したことにより金融機能再生法による不良債権比率は前年度末比1.27ポイント改善しました。

## ●自己資本比率の推移

平成18年1月末(決算)	平成18年7月末(仮決算)
25.61%	25.64%

## (留意事項)

- 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。
- 平成18年7月末基準の金融再生法開示債権の算出方法について
  - 各債権区分額は、平成18年1月末時点の債権額を基準として、平成18年7月末時点の残高に修正しています。
  - 平成18年1月末から平成18年7月末までの間に、債務者区分の変更が必要と認識した先については、7月末時点の債務者の状況に基づき債権区分を変更しています。
- 自己資本比率の算出について
  - 仮決算の自己資本には、仮決算に基づく半期利益を加算しています。(半期利益を前年度の次期繰越金に加算し、外部流出予定額を控除していません。)
  - 仮決算期末におけるリスク・アセットを計算しています。